

# 九浦の家づくり

## 28年度総会報告

四月16日14時から、二丁目長谷川歌さんを議長に、44名の参加を得て行った総会で、27年度事業報告、会計報告、会計監査及び、28年度事業計画案、予算案、運営委員・監事が承認されました。

27年度事業例として、七月の市長とのタウンミーティング「東町のまちづくり」が小林代表から報告されました。窓口前で陶器のリリースを再開しました。

28年度新代表に青木一郎さん。副代表：浅井信也・濱岡哲・小林宏・山田淑子、会計：宮沢元英・荳坂敬子、監事：小峰ヒデ子・伊藤義則の皆さんが承認されました。新運営委員に、三崎吉剛・竹内志織さん。

参加者からコミセンのWEB化提案がありました。無線LANは設置すみで、ローバーなら使えます。

総会終了後、久しぶりに利用者交流会を行いました。若い方々の参加もあり、活動の様子がみられて

よかったです。ただ、利用団体間の交流は、予想よりニーズが弱いようです。

つどいは「場」をつくりまします！

つどいで話しあいませぬか。

武蔵野市公共施設等総合管理計画案

「いっしょに考えましよう！」

公共施設の未来」

六月23日は未来を見据えたまちづくりの勉強会。説明は、名古屋総合政策部長、堀内総合政策部参事、馬場さん長坂さん。

武蔵野市は、学校やコミセンなど公共施設整備に早く取り組んだ分、築30年以上がすでに60%。3分の一が40年、50年を超え、インフラ(上下水道、道路)も含め老朽化が進み、築後60年を迎える施設の更新時期が10年後から集中してきます。続々建てた公共施設全面積の半分は学校施設が占めています。

平成32年度まで10年間の総合計画(第五期長期計画・調整計画)に則り、役所の縦割りで部署ごとに検討していたのを、共通の考え方で類型別に(学校、子育て支援、文化施設)個別計画をつくることになりました。背景は市の人口推移、財政推移。現在の人口143,300。30年後に向かってくる程度で推移するも、年少人口は微減(27

●NO. 112 2016 07 04

吉祥寺東コミュニティ協議会

● 武蔵野市吉祥寺東町  
1-12-6  
吉祥寺東コミュニティ  
センター(九浦の家)

年12月末16,346)、65歳以上の老年人口(同30.8%)は倍増、生産年齢人口が10%減。これは市民税に頼る市の歳入減、保健医療・介護などの社会保障費増を意味します。小中学生の数は高度成長期より大幅減です。

ゴミ処理・消防、防災、などのサービス、子育て支援は削れない。それで基金も含めた財源との睨みで、長寿命化と総床面積の節約で、需要を満たしつつも多数の建替え時期の集中を避けよう、財政支出の山をなだらかにしようというわけだ。

全市はまず置き、吉祥寺地域は南北駅前整備と、楽しく住み良い街の維持という大問題を抱えています。コミセンも和室はいや、エレベーターをなど、30年前に予測できなかったニーズが生まれました。

あれも欲しい、これも造つてという時代は過ぎ、市民生活を支え、時代のニーズに、文化の街の未来を担う施設について、子どもたちの未来に「ツケ」を回さぬよう、住民もお金のことも含め話し合つて共通理解し合意する必要がある。施設を造り替えるには準備に最低5年は要る、この5年で何をすべきかなのです。

市は、民間の力も利用して、付加価値の高い文化都市を目指すと言っています。

市の説明の後、参加者の活発な発言がありました。 ◆発言 ◎答え

◆公共施設統廃合というが、学校は余剰教室がある。保育園など複合化はどうか。駅舎やバス営業所の上に保育園はどうか。

◎施設は学校など既存も含め有効利用を考える必要がある。武蔵境の市政センターは市有地に建てる民間建物を借りる。

◆財政が気になる。計画には順位をつけるべき。

### 予告

七月16日(土)2時〜地域フォーラム  
◆「公共施設の総合計画つてなあに？」

八月7日(日)10時  
◆九浦の庭の虫探し 小峰光弘さん

八月11日(木)山の日(午後2時〜)  
◆「小中連携教育から小中一貫教育へ」  
意見交換会

八月20・21日 本宿小学校庭  
◆本宿盆踊り

九月4日(日)10時〜15時  
本宿小体育館 東部福祉の会  
◆吉祥寺東部フェスティバル

九月25日(日)アジアを知ろう香港6  
◆「立法院選挙」など 谷垣真理子東大教授

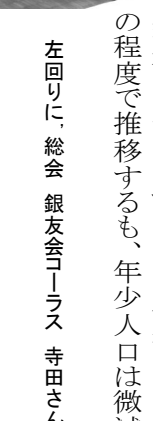
九月27日(火)午後2時〜木戸銭500円  
◆吉祥寺東落語会 春風亭朝也さん

◎優先順位の検討その通りだが先に行けば行くほど厳しい。今保育、先は高齢。時々にかわるニーズ、市民もいっしょに考えてほしい。市役所はどうするか。練馬は区役所の上は住居、小金井はリース。今の市役所は行きよいか？24年後の課題だ。行政は策定し案は出すが、決めるのは市民です。

◆厳しくはあるが武蔵野は恵まれ、箱物も身分相応なもの不足感じぬ。橋、川がないのでメンテ負担も少ない。対応に甘さがあったのではないか。

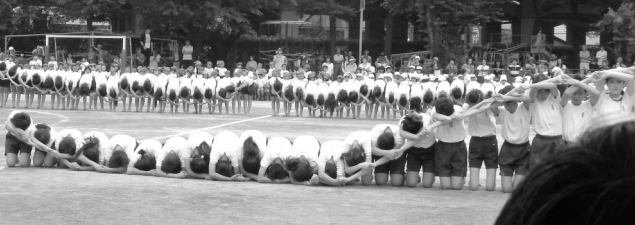
◎これから10年はよいがその先財政は厳しい。公共施設の面積は増やさない方針だが、地震に対する備えは必要だ。吉祥寺駅南口広場は見込んでいるが、三鷹駅前に入っていない。厳しくなるだろう。

◆減らすなら付加価値の高い、文化的なものを造つてほしい。



左回りに、総会 銀友会コーラス 寺田さん ギターアンサンブル 風凜華斬 吉祥会仙之輔さん

# 街づくりができるの



四軒寺交差点のすいすいプラン(交差点より100m)は、平成23年度に事業認可され、事業期間は31年度までとなっている。用地買収進捗50数パーセント。説明が済んでいない方もあり、用地買収の折衝はこれからと聞いている。

住民から以下の質問がありました。

◆四軒寺のプランは、右折ラインを含め幅16m(歩道3m)。ならば、女子大通りの幅16m必要か。

◎正式な事業プランはまだ示されていないが、歩道3.5m、車道4.5mの計16m。自転車レーンも確保すると聞いている。

◆地権者の切迫感を理解してほしい。住民といっしょに話し合いたい。パブコメを出し、再検討の要望をした。幅員縮小など計画の見直しを聞いてもらえる可能性があるか。住民が運動起せば良いのか。交通渋滞があるので整備をというが、四軒寺6000台、法政あたり2800台?東の人間には6000台の実感が無い。

◆同感。計画には90%が反対だ。歩道部分の拡幅は協力を惜しまない。

◎市は主な交差点の交通量調査を定期的に行っており、指摘の交通量は平成27年のもの。宮本小路以西、以東で交通量は大変な違いがある。検証項目の交通量は将来交通量を満たす試算になっている。全ての都市計画道路がそのまま事業化されるわけではないが、計画幅員の見直しは、ハードルが高い。

◆①都が目指す将来像(環状メガロポリス)とは何か。②集約型の地域構造とは?人口減、車減の現在、将来をどう考えるか。

◎環状メガロポリス構想は、平成運動会で、五・六年生のウエーブの演技

13年四月石原都知事時代にできた。首都機能を担う七都県市広域連携構想。外環構想とつながっている。

◎②は拠点の市街地を再構築し交通インフラ整備で集約的地域構造に再編する計画。◎昭和37年から女子大通りの拡幅計画はあり、10年ごとに都市計画道路の整備方針を見直し、この28年三月にパブコメなども経て第四次事業化計画が出来た。平成55年を境に人口減少に転じると予測されているが、都市活動の維持のために道路整備は必要と捉えている。

◆20m拡幅で影響を受ける家は60数軒。歩道整備に重点置いた計画にならないか。歩道の問題を解決するには一方通行化や時間規制すれば良い。また、バス的小型化を市が補助すればよい。

◆反対意見うかがった。お気持ちには解るが、解決すべき問題は渋滞及び歩道の問題だ。他ではみられない劣悪さで、解決する方策として拡幅は意味がある。地域住民としては歩道を広くしてほしい。また、バス停にバスベイ分をとってほしい。

◆西十一小路だが、女子大通りは大変渋滞し、それを嫌い南北生活道路に車が流入している。正直計画はありがたい。

◆杉並区側はどうか。

◎武蔵野側9m、現状で杉並が1m広い。都市計画道路は幹線道路同士を結ぶので杉並側もいずれ事業化される。

◆歩道については沿道の間も問題だと思っている。16m幅でなく、歩道は改良するという声はどうしたら届くのか。

◎住民の意見を聞くのは市の責務なので、都は伝えるが。

◆延焼遮断帯は16m以上必要なのか。

◎沿道の不燃化率が高ければ道路幅員が16m未満でも機能は確保される。

◆この計画だと、ミニストップがなくなる。米屋もなくなる。多くの住民が困るが。

◆検討に住民を入れ、住民の立場に立つていっしょに考えてほしい。

◎市としては東西の都道整備を、長期計画や都市マスタープランなどの行政計画などに位置づけてきており、その各々に市民の参加を得てきている。女子大通りはまだ事業化されていない。外環の2練馬部分は、都市計画変更で幅員40mが22mになった。計画決定に至るまでは、変更の可能性はハードルが高いがゼロではない。事業化の際に都市計画そのものに反対というの、あえて誤解を恐れずというと、裁判で争うことになるのではないか。

山家参事

市で関われることは限られている。該当者、商店の方、住民の方の意向は都に伝えるし対応していきたい。その上で、道路は権利者の協力がなければ出来ないもので、働きかけは行っていくことになる。計画変更については、住民の意見を聞くのは市の責務なので要望は都に伝える。ハードルは高いことはご理解願いたい。

都市計画に関わらず、100%の合意を得て進めることは難しい。だが意見は伺うことはできる。周知に関してなど反省すべき所は反省し、今後改善したい。

長く女子大通り商店会光会会長を務めた小峰さんによると、実川博、井口秀男都議までは、20年30年先で今からどうこうしなくても真剣でなかった。光会はそれなりに調べていたが、確定でないと都も図面公開しない。現都議は決まれば都を連れてくると言っていた。(文責 原)

◎四月6日桜満開の本宿小入学式60名入学。返事と反応の良い一年生は、六年Tさんの歓迎の辞皆さん不安でも安心してくださいに「はいてますよ」。大爆笑にもTさん笑って慌てず、一年生を惹き付けます。すい。



▼本北公園南駐車場が宅地に?

▼吉祥寺通り2-13マンション取り壊し中。三丁目も大型アパートや社宅など大型の建替え多い。先生方の異動

◇第三中学 副校長山口敦先生が転出され新副校長に井出芳江先生に着任。

国語の太田圭祐、社会の木内実先生が転出。保体の小宮山知佳先生が退職。社会の江花裕子、保体の佐藤雅代、英語の阿部敏男(新任)の諸先生に着任。石森賢一、蜂須洋子先生は非常勤で音楽指導。

◇本宿小 佐々木克二校長が転出、大沢武弘校長に着任(立川第二中学副校長から)。

水上卓哉、淡路さつき、星芝卓郎、飯田明日香先生が転出。図工の井の口先生は退職されましたが、週に1度時間講師として来られます。本郷沙和子、関田秀行、水島菜由、阿部麻琴の諸先生、理科指導員横溝一先生、育休代替の浅野ゆり先生に着任。栄養士さんは、村田佳園栄子さんから諏訪久子さん(境南小から)へ。

◇第四小 河村祐好校長千川小へ転出され、榛原紀子校長に着任。根本友葵子、秋山里紗、荒巻万友美先生が転出。渡邊実佳先生、樋口泰史、柳祐子先生に着任です。

三小:本宿小の校長、副校長は、本宿コミュニティだより85号に写真付きで紹介がありました。

五月15日東部防災会総会(本宿コミ)

五月25日東部福祉の会総会(本宿コミ)

交通事故(三月〜五月)

【人身事故】東町4件(一丁目3件 三丁目1件)【物件事故】東町21件。大事故は少ないが、東町では、五日市街道や女子大通りなど、大きな通りが多い。警告カードで自転車関連事故減少。▼五月東町で空き巣2件。一戸建の窓ガラス割って侵入と無施錠のアパートの2件。火事なし。

# は、そこで生活する私たちです。

◎長期計画第一期、すでに人口過密都市だった。働く人は外から来る、増やす必要なしとしてきたが、暮らす人が子育てしやすい、若者が暮らしやすいまちづくりは大事だ。

◆学校など耐震化が済んだ物はどうか。  
◎法的に求められる耐震性の25%増で、震度6強・7に耐えうる。ただ躯体は大丈夫でも天井、壁などの補強、メンテナンスは要る。

◆新たなコミュニティ構想の検討は始まっているのか。  
◎まだだ。公共施設の見直しはコミュニティの課題解決のチャンスにもなる。

◆吉祥寺アイデンティティは今後も大事だ。10年経てば減少に転ずる子ども用施設など、公園などに時限で建て、済めば撤去することで理解を得られないか。木造なら解体再利用ができる。  
◎耐火のこともあるが面白いアイデア。

名古屋部長：柔軟な意見聞いて励まされた。職員は街の魅力を上げ環境を向上させる責務がある。ご意見をいただきつつ共に造っていくのが責務と思う。

堀内参事：コンパクト化しつつ街の魅力を高める。境のプレイスは付加価値で人気がある。公会堂に付加価値をつけて吉祥寺らしさを発揮させるか、市民で議論してもらおうことが市民文化につながると思う。

武蔵野市は平成23年に基礎データ公共施設白書を策定、25年にアンケート調査とシンポジウムを実施。26年国から



の総合管理計画策定要請も踏まえ、今年二月「公共施設等総合管理計画案」を公表しました。しかし、市民の関心が弱く、反響が少なかったため、コミュニティ研究連絡会に相談し、できるだけ説明の機会をつくって意見を求めています。  
↑質問にこたえる堀内参事 左名古屋部長

## 「東町をとりまく道路計画」 (女子大通り)

五月のついで 21日(土)  
東町の主要道路は都道です。だから市は、計画を直接どうこうできず、説明する立場にない。受け取っている情報の提供や質問を取次いだり、事例による説明などはできるので、住民側が求める場には出てくれる。今回は、コミュニティ協議会が「ついで」を場として提供しました。

山家都市整備部参事のおはなし  
「都市計画道路の整備方針についてはHPと四月15日号市報に記事を掲載し、冊子などをコミセン図書館市政センターで閲覧・配布している。整備方針案のパブリックコメントを二月10日まで実施した結果、女子大通り(3・4・11号線)には27の意見があり、反対・見直しは18件、整備推進・要望は9件だった。

### 武蔵野市の考え方

市内の都市計画道路の施行率(完成率)は61%。南北は69%、東西57%で武蔵野市内では東西が進んでいない。また、市施行路線は78%、都施行路線は50%の進捗で、都施行路線の整備が進んでいない。このため、市では五日市街道、井の頭

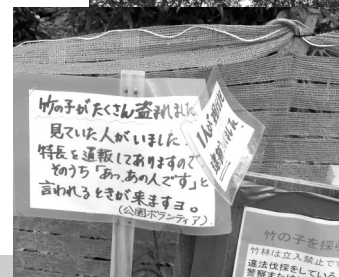
通り、女子大通りなどの、東西方向の

都施行路線の整備を都に要望してきた。

女子大通りは、沿道の生活道路に通過交通が流入していること、歩道幅員が1m程度しかなく歩道空間が十分でなく、狭い上に電柱もあり、延焼防止機能も弱いなどの課題がある。加えて外環道路との関係がある。国の対応の方針では女子大通りなどの拡幅も含め、周辺道路整備のあり方について検討し、必要な対策を進めるよう努めてまいります」と記載されている。このような要望も踏まえ、女子大通りが都施行の優先整備路線として選定されたと捉えている。

今までも女子大通りの整備を要求してきた地域住民の方々がいる。市議会からは、女子大通りの整備に関して特段反対の意見は聞いていない。一方で沿道権利者などからは反対の意見が寄せられている。市としては、沿道権利者の生活再建などに配慮しながら丁寧に対応してほしいことを都に要望した。

権利者の賛否は別として、実際に計画が行われるとなった時の補償などの説明は必要と考えている。東京都では事業化の検討は進んでいないため、現時点での対応は困難と聞いており、また測量調査を実施していないので個別具体的な説明はできないが、要望があれば、営業補償、借家人(アパート)の取扱いなど、市としても一般的な説明をしたい。



## 東町ニュース

伸びた新竹。下は竹の子取らないでの注意書き

◎五月26日井の頭の象の花子さん永眠。私のことわかってくれたという女性が沢山います。

◎六月18日 ほつともつと前の電線に巣立つたツバメの子3羽。2羽まだ巣の中。夕方4時半、うぐいす小路上空を鳴きながら親子が乱舞。小さくて発音が遅れていた最後の一羽も19日夕方巣立ちました。最後の子まで面倒みています。一度巣を離れると戻りません。もう一つのTOWCATの巣の3羽は六月7日もう巣立ち。ともに四月1日巣作りでした。本宿小近くにも五月末ツバメ情報がありました。巣は未確認です。

◎本宿小学校グリーンベルトに、ネジバナ(しのぶもじずり)が何本も。来年在が楽しみです。  
◎吉祥寺通り旧ファミリア電化に、大型コインランドリー「晴れのち晴れ」。布団も洗える機械あり。  
◎立野エヌブリッドウバリは、フルーツタルト専門店「Fruit Paço吉祥寺」に。  
◎ONE階「リカーオフ吉祥寺」七月22日開店。  
◎一〇に美容院 Wednesday Lounge 七月1日開店

◎八幡通り北町側蕎麦更科南に、焼きそば屋「四季」開店。5月から?  
◎アテスウェイ東隣の長岡歯科閉院。  
◎吉祥寺通り、花屋隣「虹色小町」閉店。  
◎西友北ファミマ2階の美容院「accolle」閉店。  
◎この夏休み、三中体育館天井工事です。

◎五月28日(土)本宿小学校運動会。雨のあとで暑くなく、運動会には最適。前半の紅組圧勝が、午後の団体競技で白組が頑張り、白熱のリレーで最後に逆転しました。生徒数増で、お弁当を広げる家族がトラック以外を埋め尽くす。家庭は子どもでいっぱい。

◎五月20日宮本小路公園の泰山木が咲き始めました。公園のタケノコが盗掘され、注意書きが出ました。一人現行犯逮捕。植えた花も盗難。

◎四月24日、安養寺参道のポタン満開。消防署出張所が更地となり、よく見えました。

◎28年4月、松井外科の人間ドック検診センターを改装して、保育園「子どもと幼児園」開設。



アジアを知らう香港編5 六月11日  
「国際都市の光と影」香港経済と高齢化問題」

東京外国語大学大学院総合国際学研究院

澤田ゆかり教授

最初のどよめきが起きたのは、澤田教授から特殊出生率と高齢化の日本と香港の数値・グラフを示された時の事でした。香港の平均寿命は3年前には日本と並んでおり、少子化は30年以上前に日本を追い抜いています。何故そうなのか？驚きが深いうなずきや驚嘆に変わったのも、今回のテーマが来場者の方にとり、切実で待ったなしの問題点を含んでいたからでしょう。

経済状況や複雑な政治体制の影響で、香港と中国本土の間を越境する高齢者や妊婦、そして外国からのメイドの大量流入。人民元の高騰により生活の立ち行かなくなつた高齢者達が中国から回流してくる事実など、知られざる香港の真実を目の当たりにし、もはや他人事ではないインパクトを受けました。

澤田教授の白熱の講義は知的刺激に満ち、講演終了後も活発に質問が続きました。

今回講演の資料・データは九浦の窓口にあります。講演録はスタッフによるまとめが終わった後にご覧いただけます。



2時間立ちっぱなし。早口で、意表を突く話題を次々に繰り出し、知的好奇心を満たすすごい時間でした。

今年も九浦フリマ



↑ 家屋調査についての情報交換がメインでした。

つどいへどうぞ

東町の昭和史「嫁いで来たころ」  
うぐいす小路の今野さん池田さん



左池田さん、右今野さん。共に92歳  
始まる前から冴えた掛け合い漫才。

定年後の、自他とも楽しませる生き方のお手本みたいな先生です。最終講のあと贈られた花束と、大竹英雄名誉棋聖自筆署名入りの本を手に入れた。



九浦の家の初級囲碁教室  
碁九浦倶楽部 五五〇回にて千秋楽  
六月9日、23年にわたり毎月2回の木曜日、九浦の家の初級囲碁教室を担当指導された大窪教海先生。90歳を超えたのを機に、550回で教室を終えられました。先生はこの間無欠席でした。一からというかゼロから囲碁を習える人気の教室でした。短歌、俳句、随筆をたしなまれ、北町ナーシングホームで俳句を教えておられます。

3コミセンネット  
武蔵野外環問題協議会総会  
六月6日夜本宿コミセンで行われた総会で、27年度の活動と会計報告が行われ、併せて、現在行われている外環本線の上部に住まれるお家の家屋調査についての質疑、昨年十一月の市議会議員による外環インターチェンジ3地点視察報告が外環問題特別委員会委員長からありました。

東コミ局  
センターから  
お知らせ  
16. 07. 04

▼ 囲碁を楽しむ会に次ぎ、初級囲碁教室も活動を終了です。  
▼ 陶器のリユース、受付前で再開しています。  
▼ 今号は二つの「つどい」の話題

- ▼ 重く、例年掲載する会計報告は次号に回します。ご了承ください。報告は窓口で。
- ▼ 「コミセン親子ひろば」を九浦の家でもやつてほしいと、子ども家庭部から視察。趣旨には賛同するが、毎月2回ホール確保が部屋3つの九浦としては苦しい。用具置き場はどうするか。月一回でどうか交渉中。
- ▼ 五月24日午後、朝也さん吉祥寺東落語会は「粗忽の釘」と「明烏」の2席。53名の参加。真打になつても来てくれるそうです。
- ▼ 七月1日から例年のように七夕の竹を置き、短冊を来館者に書いてもらいます。
- ▼ 窓口事務の佐藤拓海君五月末退任。
- ▼ 総会後、小林球子さん、井上智博さんが運営委員に加わりました。
- ▼ 軽スポーツの日は毎月第一土曜日開催になりました。
- ▼ 四月2日午後の宮本小路公園お花見。
- ▼ 災害時にも役立つ、九浦の家備品のリヤカーで、シートやざぶとんを運びました。
- ▼ 正門からのアプローチ。ごろごろして危険だった玉石を土に埋め込んで素晴らしい通路ができました。歩きやすい。



造園は浅井運営委員

